

会社連絡先：

RF Micro Devices Inc.
Irma Swain, Communications Manager
7628 Thorndike Road
Greensboro, NC 27409-9421, USA
電話： +1 (336) 931-6653
iswain@rfmd.com

RFMD社、化合物半導体の需要拡大に向け施設を拡張

携帯電話／マルチマーケット製品グループの成長に対応して生産能力を拡大

ノースカロライナ州グリーンズボロ、2007年10月 3日：移動通信を推進する各種アプリケーション向けの高性能無線システム／ソリューションを設計、製造し業界をリードするRFMD社（ナスダック：RFMD）は本日、同社の携帯電話／マルチマーケット製品グループの予想される成長に対応するため化合物半導体の生産能力を拡大する計画を発表した。

RFMD社ではその主力市場が好調なことから、同社が市場をリードする化合物半導体プロセス技術の需要拡大を見込んでいる。携帯電話端末の市場では今後ますます集積度の高いマルチチップ送信モジュールが採用され、また3Gマルチモード端末への移行が進むことから、同社のGaAs pHEMTデバイスやGaAs HBT（AlGaAs HBT およびInGaP HBT）に対する需要が増大することが期待されている。このように好調な市場動向から、携帯電話端末に必要な化合物半導体の割合が拡大し、携帯電話用フロントエンドの市場は2007～2012年の5年間にわたり年20%以上の成長率で拡大するものと予測されている。なおRFMD社は最近、携帯電話用フロントエンドで最大のメーカーとなった。

さらにRFMD社のマルチマーケット製品グループが対象とする市場では、802.11n（GaAs HBTおよびGaAs pHEMT）への移行やWiMAX（GaAs HBTおよびGaN）の採用拡大が牽引力となって化合物半導体の比率が増し、市場の成長が加速されるものと期待されている。同社のGaNプロセス技術は高出力や良好なリニアリティ、広帯域が要求される用途ではシリコンLDMOS等の既存技術に比べ特に優れたプロセス技術であるとの評価が急速に拡大している。RFMD社はGaAs HBTおよびGaAs pHEMTの世界最大のメーカーであり、現在、GaNプロセス技術による商業生産を急速に立ち上げている。

「RFMD社はここ数年間、携帯電話用PAでのリーダーシップを生かし、常にGaAsデバイスの最大のメーカーとして活躍してきました。同社は今後も携帯電話端末市場の要求に沿って活動し、これにより生産も拡大するでしょう。RFMD社ではさらに相互に緊密な関係のある複数の市場向けの戦略も持っており、GaNおよびGaAs pHEMT技術の高付加価値が得られる分野への展開や、現

在進行中のシレンザ社の買収提案を通じてのIPや製品ラインの拡大にも力を入れています。この量産と高付加価値の両方を追求する戦略はRFMD社が化合物半導体業界の最前線に立ち続ける上で役立つものと考えられます。」とGaAs／化合物半導体（GaAs）サービスの戦略解析担当ディレクターであるアシフ・アンワル氏は語る。

「当社が対象とする市場は拡大を続けており、当社はその中で化合物半導体の比率を高めることにより成長を継続しています。3番目の工場を追加することによりこの成長率をさらに高め、同時に製造コストの低減と営業利益の継続的な改善を図ります。この第三工場の完成後、第二工場の能力と合わせ、GaAs HBTおよびGaAs pHEMTを利用した携帯電話およびWLANのフロントエンド製品の大量生産に集中することができます。またこの新工場では、ウェーハレベルパッケージングによるSAWフィルタの生産や高集積フロントエンドを可能にする新たな次世代プロセス技術の開発も行います。なお当社の第一工場は特殊なGaN、GaAs pHEMT、GaAs HBTを利用する高付加価値なマルチマーケット製品を重点的に扱います。」とRFMD社の社長、CEOのボブ・ブラッグワース氏は語る。

RFMD社は現在、予測される差し迫った需要に対応するためGaAs HBTおよびGaAs pHEMTの両方について生産量を増加させている。

RFMD社について RF Micro Devices, Inc. (NASDAQ: RFMD)社は移動通信の主要アプリケーション向けに高性能な無線システム／ソリューションの設計、製造を行う会社で、この業界のグローバル・リーダー。RFMD社のパワーアンプ、送信モジュール、携帯電話用トランシーバ、およびシステム・オン・チップ（SOC）ソリューションは現在および次世代の携帯端末、基地局、無線ローカルエリアネットワーク（WLAN）、無線パーソナルエリアネットワーク（WPAN）、全地球測位システム（GPS）などの最新機能をサポートし、全世界的なモビリティの向上と接続性の拡大に寄与するもの。最先端の半導体技術による幅広い製品ラインと無線システムの豊富な経験で定評のあるRFMD社は、現在および将来の市場要求を満たす最新無線機能のサプライヤーとして、世界中の主要な移動通信機器メーカーから選ばれている。

ノースカロライナ州グリーンズボロに本社を置くRFMD社はISO 9001およびISO 14001の認証取得済みのメーカーで、世界各地にエンジニアリング、設計、販売、サービスの拠点を持つ。RFMD社はRFMD銘柄で米ナスダックグローバルセレクト市場に上場しています。なお詳しい情報はRFMD社のホームページ、www.rfmd.comに紹介されている。

このプレス・リリースには、1995年米国私募証券訴訟改革法（*Private Securities Litigation Reform Act*）がその免責条項として定める「将来的な予測」が含まれています。この「将来的な予測」には当社の計画、目的、説明、主張などについて、またはそれ以外についての記述が含まれていますが、これらの記述は歴史的な事実ではなく、通常は「可能」、「必要」、「予測」、「期待」、「予定」、「計画」、「推測」、「確信」、「推定」、「予想」、「可能性」、「継続」などの用語や類似の用語とともに使用されています。またこれらとは別の表現で「将来的な予測」が記述される場合もあります。この文書に含まれている「将来的な予測」の記述は現時点における経営陣の判断や期待を表していますが、実際の成果や出来事、業績などはこれら記述で表現されたり暗示されたりした内容とは実質的に異なる場合もあります。当社は米国連邦証券取引法により要求される場合を除き、これら「将来的な予測」の記述内容を改訂したり、あるいはその記述の改訂を公表したりする意図を持っていません。RFマイクロデバイセス社の事業には多くのリスクや不確実性が内在しており、その内容には四半期毎の経営成果の変動、無線関連市場の発展や成長率、ウェハ製

造施設、分子線エピタキシー施設、組み立て施設、試験、テープ、リール施設など各種製造施設の稼働に関するリスク、熟練技術者や開発リーダーを採用・確保する当社の能力、生産歩留りの変動、革新的技術によりコストを削減し正味利益率を改善する能力、新製品を市場に投入する能力、顧客の在庫センターを通して行う委託販売への依存性、製品需要に即応したタイムリーな生産能力の調整を行う能力、限られた顧客への依存性、サードパーティへの依存性などが含まれています。上記以外も含むこれらリスクや不確定性については米国証券取引委員会の様式10-Kに従ったRFマイクロデバイス社の最新アニュアルレポートの中で説明されていますが、このような不確定性のため、これら記述の表現や暗示による内容と実際の成果や出来事、業績とは実質的に異なる場合があります。

RF MICRO DEVICES® およびRFMD®はRFMD, LLCの商標である。その他の商品名、商標、登録商標はそれぞれの所有者の財産である。

###